

●とびっくす●

「若手建築志(士)交流会」に参加して

徳島支部 島津 臣志

「不易を知らざれば基立ちがたく、流行を知らざれば風新たならず」即ち「不変の真理を知らなければ基礎が確立せず、変化を知らなければ新たな進展がない」という芭蕉が提起した理念です。「不易」とは時代の新古を超越して不変なるもの、「流行」とはそのときどきに応じて変化してゆくものを意味しています。

9月4、5日に岡山県犬島で行われた『若手建築志(士)交流会』に参加してきました。中四国から約70名(犬島の現在の人口は約60名)の会員が参加しており徳島県からは6名の参加でした。現在、瀬戸内海の7つの島では瀬戸内国際芸術祭2010(～10月31日)が行われていますが犬島もその中のひとつの島です。犬島は周囲4kmほどで歩いて1周できる小さな島です。犬島には行ったことがなく、また建築士会には今年度から入会したばかりで交流会等に参加したことがなかったのでいい機会だと思い参加しました。

島へ着いてまず、島の案内人から1時間あまりの説明でしたが、島の歴史等、貴重なお話を聞くことができました。江戸時代は大阪城の石垣にも使われた「犬島みかげ」の採掘で賑わった犬島ですが、今から約100年前に銅の精錬所が建てられました。しかし銅の価格の大暴落によりわずか10年で精錬所は閉鎖となりその後90年も放置されていたそうです。それを三分一博志氏の設計により新たに美術館として再生。照明、空調を一切使用せず、太陽光、煙突効果による採光、通風のみで夏は冷風、冬は温風を建物内に取り込むという環境に配慮した建築に生まれ変わりました。実際、建物内部は風がよく通り暑さをあまり感じませんでした。風の通り道をつくるという基本的かつ重要なことを体感することができました。

その後、島を散策。現代アート作品を見学しながら島を散策していると、時折木々の隙間から見える精錬所の煙突、焼杉の外壁によって普段の日常の暮らしでは味わうことのできないノスタルジックな感覚を覚えました。

犬島を離れ、徳島士会一同で閑谷学校へ。閑谷学校は岡山藩主池田光政によって1702年に建てられた儒学に基づく庶民教育のための学校で、国の重要文化財に指定されています。山に囲まれた敷地はかまぼこ型の石堀によってゆるく仕切られ、その中に備前焼の瓦で葺かれた講堂、文庫等が配されています。自然の中にひっそりと佇む非常に美しい建物でした。

今回の交流会を通して2つの建物を見ることができました。過去の遺産に手を加え、新しい風を取り入れた犬島精錬所。過疎化・高齢化が進む島が芸術祭を通して、多くの観光客が足を運び、島の活性化に少しずつつながっていくのだろうと実感しました。また、300年前からの姿を維持している閑谷学校。こちらにも多くの人々が訪れており、どちらの建築物も人を惹きつける魅力がありました。

文頭の芭蕉の理念はこう続きます。両者は本質的に対立するものではなく、真に「流行」を得ればおのずから「不易」を生じ、また真に「不易」に徹すればそのまま「流行」を生ずるものである。

建築物にも不易と流行がありますが、変わらないものを愛する心と、時代の変化と共に形を変えていくべきものがあり、新たな建築も時間が経って流行から不易へと、そしてまた不易から流行へとという流れを繰り返していくのだろうと再認識させてくれた2日間でした。



犬島の精錬所



岡山の閑谷学校

ボクの新しい人生

徳島支部 矢野 雅紀

徳島支部・青年部の矢野 雅紀です。

建築士会に入らせて頂いてまだ2年目ですが（M氏の熱の入ったお誘いにより）初めは形式だけのものと捉えていましたが、よくぞ入れて頂きましたとこの場を借りて申し上げたいです。

実に楽しい企画ありで、今回のBBQ・阿波踊り・ソフトボール大会・勉強会などいろんな行事に家族で参加出来、個性豊かな会のメンバーが受け入れて仲良くして頂ける事が嬉しいです。

少々自己紹介をさせて頂こうと思います。

自分自身は千葉県（かなり東部の田舎町）の出身で子供の頃から絵を描くことが好きでした。東京の大学を出てゼネコンマンとして各地を転々とする生活で、地域に根付くこともなくこれといったコミュニティーもない仕事中心の生活で、将来のビジョンなども漠然としか描いたことがありませんでした。

2年前に妻が「これ受けて！！」と持ってきたのが妻の実家のある徳島市役所の採用試験要項でありました。

自分が公務員に！？と戸惑いつつも、ゼネコンの将来性、作りたかったハズの建築物がリフォームや改修ばかりとなりつつ、この先も続くであろう転勤生活、何よりも家族との時間の無さなど、決して仕事が嫌で会社が嫌いでもありませんでしたが、心の隙間を妻は見逃さなかったのだらうと思いました。

耐震補強工事等を得意とする分野だった為、PRし見事M氏とともに採用されました。恐ろしいほど、周囲からの反対（民→官へ）は、全く無かったものです。

端的ですが、私が徳島へ来ることになった経緯をお伝えさせていただきます。

さて、BBQへの参加は天気にも恵まれ、ゆる～い時間の中、子供たちの楽しそうな顔、じゃんじゃん売れる肉とビール、子供たちがつかみ取りしたニジマス旨そうなこと。

みな、日頃の忙しさから解放されのんびりした空気が流れていました。山のキャンプは涼しくて、川遊びが出来たり、昆虫採集にふけったり、魚のつかみ取りや花火など、貴重な体験も出来、大満足でした。買出しの分担なども段取り良くされていて、私は「焼きそば係」を拝命し自分のポジションを見つけました（笑）。

とても充実した時間を過ごせ、夏の良い思い出ととも



焼きそば職人



焼きそばを食べて満足する子供たち

に、これから迎え撃つ阿波踊りも2年目だが、こちら、実はハマっているのです。

練習にも気合が入り、少しでも上手く踊りたいと思う気持ちが芽生えてきていて、完全燃焼を狙っています。

徳島へ移り住み、建築士会に入れていただき人とのつながりが広がり、新しい境地を知り自分が徳島人として根付いていく場所が見つかったように思えてきています。

改めまして、よろしくお願い致します。

(社) 徳島県建築士会 各支部活動・放浪の旅! そして、我が支部を振り返る・・・

小松島・勝浦支部 今岡 賦史

■ まちかど原稿依頼を受ける・・・

今回、当支部の事務局の大木さんより、『たけし君、まちかどの支部だより、書いてくれよ。事務局の小川さんには、連絡しとくから!』と・・・会社のトラックの横からの、突然の指令でした。今回、長年の他支部活動を視察し、他支部の地域特性とその活動状況を深く分析し、当支部としての活動を見直すべく、報告したいと思えます。

■ 他支部の活動調査団員として (いざ、川島支部!)

2007年7月29日 川島支部・第1回耐震勉強会。

まちかどで知り合った、鎌倉さんから、『耐震勉強会・第1回目の勉強会をするので、資料とか、DVDとか、用意できないだろうか?』と、要請がありました。

急なオファーにも何とか対応でき、無事終了!

これを機会に、都度、当時の青年部部長の松下さんから、お誘いの電話があり、川島支部行事に参加させて頂き、川島支部活動を勉強させて頂きました。



川島支部 第1回耐震勉強会 (on H19年7月29日)

■ 他支部の活動調査団員として (次は、板野支部!)

2008年11月24日(振休) 板野支部の当時の青年部部長であった市川さんからご依頼があり、耐震関連のメーカーを招集して、藍住町役場にて、支部勉強会を開催しました。

当時の支部長である平尾さん・事務局の石井さんと打ち合わせした時に思ったことは、地域の建築士事務所として、本当に、板野支部の士会会員さんの技術UPを考え、白熱した議論をしている姿をみて、僕は・・・

この時をきっかけとして、真剣に、建築法規も含めて、構造関係を勉強すると決断したイベントでした。



板野支部 耐震金物・施工実践勉強会。(on H20年11月24日)

■ 他支部の活動調査団員として (美馬支部!)

このイベントは、建築士会・美馬支部から、情報発信をして、町役場の方も巻き込んだイベントであり、地域貢献活動の一貫事業としてのモデルであります。

ここでも、耐震診断促進化として、市民の方々へ、耐震化PRを実践しており、私もお手伝いをした次第です。



美馬支部 将来住みたい家絵画展 (表彰式を撮影)

■ 各支部活動を通して・・・ 当支部を知る・・・

当支部では、支部の士会会員さんの職種がさまざまであり、各支部と同じような活動は、難しい支部事情があります。逆に、士会会員さんには、金物店・建材店というように、建築資材の販売窓口の方が多いという特性から、正会員としてではなく、賛助会員という立場を交えて、士会活動を実践していくことが、ベターです。

しかし、会員さん同士の心の距離が遠いので、ココから、改善・スタートすることが、緊急事項でもあります。

当支部の皆さん、支部部活の参加、お願いします!

夏休み親子木工教室

阿南・那賀支部 神原 陽介

平成22年8月22日、こどもたちの夏休みも終わりに差し掛かった日曜日、建築士の日のイベント『夏休み親子木工教室』が阿南市科学センターで開催されました。

この木工教室は阿南・那賀支部では毎年恒例のイベントになっていて、今年は昨年に引き続き「動く模型を作ろう！」ということで、ゴム動力で動く木工工作を作成することになりました。

工作のキット造りに関しては昨年同様、メンバーの林雅広氏に依頼しましたが、昨年の木工教室で使用した『カウンタック』や『ネコバス』に改良を加え、さらに『フェラーリF40』と『トトロ』を新たに製作してくれました。その完成度は素晴らしく、メンバー一同感動と賞賛の嵐。

工作キットが完成したら、今度は参加者集めです。今年は阿南の夏祭りに2日間出展させてもらいました。露店に工作キットの完成品を並べて、道行く人にアピール。特に『ネコバス』や『トトロ』は子供たちに大人気で、お祭りを見に来ていた人もわざわざ足を止めて見学していかけてくれました。

士会のメンバーも興味を持ってくれたお客さんに木工教室の勧誘を行なうと同時に、木工教室の本番に向けて実際に工作を作成。昨年は参加者の作成指導にメンバー一人一人が四苦八苦していましたが、今年はこれで大丈夫でしょう。皆、夜店のイカ天やビールを片手に工作を完成させていました。



阿南夏祭りでの光景

夏祭りでの宣伝もあってか、その後、参加の申し込みも徐々に入り、木工教室開催前には13組のご家族が応募してくれました。実は昨年の木工教室はその倍の26組を集めて開催したのですが、会場の収容人数の関係上、今年は人数を絞って募集をかけました。

8月22日の開催日はとても暑い日にもかかわらず、応募してくれた参加者の皆さんも時間通りに集まってくれて無事、『夏休み親子木工教室』の開催となりました。

参加者の子供たちは、完成見本の『カウンタック』や『ネコバス』を手に取り、どれを作ろうか楽しそうに試案していましたが、やはり男の子は『カウンタック』や『フェラーリ』などのスーパーカーを選び、女の子には『ネコバス』が人気でした。

工作するものが決まると、子供たちはそれぞれの型紙を机に持ち帰って、車体の作成に取り掛かります。工作の車体になるのは建築現場で出た端材や割り箸の再利用、そして車輪になるのはペットボトルの蓋と、環境に配慮しリサイクル品を使用。設計者である林氏の作成指導のもと、子供たちも熱心に作っていました。

もちろん、スタッフである士会のメンバーも作成をお手伝いします。特にノコギリやノミを使う作業では大工である村上氏の腕の見せ所。手馴れた手つきで杉板を刻んでいました。また今年も昨年同様、小松島支部から今岡氏がスタッフとして参加してくださり絶妙なトークで参加ご家族のお相手をしていただきました。

こうしたスタッフの協力もあり、どのご家族も昼過ぎにはぞくぞくと作品を完成。最後には完成作品のお披露目レースに挑戦しました。子ども達は、真剣な表情でタイヤや輪ゴムの巻き具合を調整して走らせ歓声をあげていました。

今年も反省点はいくつかありますが、大きな事故や怪我もなく無事にイベントを終えることが出来たのは、関係者各位の努力の賜物と思われまます。大変お疲れ様でした。この活動を通して、地域の親子や関係者との関わりをもてたことは貴重な体験となりました。そして、このイベントが子ども達の夏休み最後の楽しい思い出となり、頭の片隅にでも建築士会の名前が残ってくれば幸いです。



女性部通信 番外編・「おかしの家をつくろう！」

三好支部 小松 裕明

「おかしの家をつくろう！」女性部が行っているこの事業、今回は三好市で行いました。「おかしの家」は、女性部ならではの企画という感じがします。面白い企画なので、是非、県西部でも開催してほしいと女性部に声を掛けて出張していただきました。

担当者として5月から準備を始めて、日時：7月31日、対象：池田小学校3年生、人数：50名（最大）、会場：三好市中央公民館、とんとん拍子でコトは決まっています。三好支部は小学校、学年部会との打ち合わせ、会場設営が主な役割です。

あっという間に時が過ぎ、7月31日。

最終的に参加者35名、同伴者を含めると90名余り！！女性部6名、三好支部18名。なかなかの規模の事業となりました。

会場設営は皆さんのお陰で私は会場内をウロウロしているだけで終わりました。タイムスケジュールの打合せで「はっ！俺が司会だった。」こんなイベントの司会なんて初めて……。声が震えそう、頭の中が真っ白になって言葉が出てこなくなったりして等々、一気に緊張感が増します。

さあ、スタートだ！

「実際の家ができるまで」、「おかしの家づくり方」とプロジェクターを使って女性部の植田さんと蓑田さんが進めていく。（司会者はそのスムーズさにただただ感心）

早速、簡単なイメージ図を描いて、用意された敷地（台）に土台を置いていき、クラッカー、ウエハース、角砂糖などで壁が立ち上がり、ドアがついていく。この辺でもうあちこちからスタッフの唸り声が聞こえてきました。やはり屋根が難所。「屋根を架けるのが難しいのでサポートしてください」と言われていましたが、保護者もいるし大丈夫なのは？とっていました。

ところが、屋根どうするの？という声がちらほら。ここで初めて棟木、母屋、垂木等の簡単な小屋組みが出てきて、建築士の出番。

私も何人か手伝いました。「どんな形の屋根にする？」「どのお菓子で作る？」1つ1つ聞きながら一緒に作っていく。声をかけたときにはお母さんの後ろに隠れた女の子。組み立て中に手が当たり、壁がパタン。「ちょっとお兄さん大丈夫？」的な目で見てた子も屋根が出来た時には笑顔。皆、とても印象的な表情でした。この先は飾りつけと庭づくり。飾りつけは女の子に軍配が……。

大体出来上がったところで完成見学会。

三角屋根、片流れ屋根、長崎の壱岐対馬地方の石屋根のようにクラッカーを重ねた屋根、ゴシック様式のばら窓を連想させる壁飾り、トップライト付、下屋があったり（屋根の構成が妙にリアルでした）と、色々な家がありました。やはり子供の想像力は果てしなく自由。とても面白いです。

その中に、「初めはバリ島のリゾートハウスをイメージしていたが、プリッツの化粧垂木、おとつとのシャチホコ。いつの間にか和風」の家が……。一番気に入っている所は？の質問に「屋根の刊！」あなた、建築士会3年生でしょう！！

完成した家は各自持って帰ってもらいました。

屋根部分ほんの一部の作業の手伝いだけでしたが自分で黙々と作りそうになって、「いかん。この子の家だった。」と思いながら作業する。それくらい面白かったです。子供たちもつまみ食いする間もない程集中して作っていました。やはり家作りは面白い。家（建築）に限らず物作りは面白いのです。

お菓子の家を完成させた子供達には、それぞれ達成感や喜びがあるはず。子供達にはこの気持ちを忘れずにいてほしいと思います。そして、建築に興味を持ってくれる子供が一人でも多く出てくるとよいなあと思いました。

最後に、女性部、三好支部の皆さんにはご迷惑、余計な心配をお掛けしたにもかかわらず、最初から最後までご協力いただき感謝感謝です。本当にありがとうございました。そして、ご苦勞様でした。



女性部からのお知らせ

10月30日(土) 女性部建物見学会 参加者募集中！
※詳細は士会だよりのページをご参照下さい。
お問い合わせは杉本さんまで。携帯090-4780-2800

●士会だよりー徳島支部●

ソフトボール大会のお知らせ

- ・日時：平成22年11月7日（日）
- ・場所：吉野川南岸グラウンド

●士会だよりー委員会●

常任理事会が開催されました

常任理事会が下記の日程で開催され、次の議事が承認されました。

開催日 平成22年9月3日15：00～17：00

1. 士会旅費規程
2. 士会費用弁償規程
3. 公益法人移行ロードマップ（行程計画）
4. 四国建築ツアー（瀬戸内国際芸術祭）研修費10万円助成
5. 建築学会への協賛（建築文化週間2010シンポジウム開催）協賛金3万円

なお、士会HPに議事録を掲載してありますからご覧下さい。

●士会だよりー本部●

無料講習会開催のお知らせ

住宅・建築関係事業者技術力向上支援講習会

1. 日時：平成22年10月6日（水）13：30～17：00
講習内容：木造住宅（軸組工法）の構造計画に関する講習会（CPD4単位）
2. 日時：平成22年10月26日（火）13：30～16：40
講習内容：長期優良住宅に関する技術講習会（CPD3単位）

●士会だよりー阿南那賀支部●

平成22年度士会親睦ゴルフ大会のご案内

- ・日時 平成22年10月29日（金） 9：00スタート
- ・場所 阿南カントリークラブ
- ・参加費 5,000円（当日集金）
- ・プレイフィー 8,600円／1人（指定食事付き）
- ・申込 9月中旬に案内状と申込表を各支部長に送ります。各支部でまとめて阿南那賀支部まで申込んで下さい。
- ・申込締切 平成22年9月30日（木）
- ・組み合わせ表発送 平成22年10月15日（金）

●士会だよりー本部●

ピンポン・テニスサークルのご案内

□ピンポン

練習場所 大松小学校体育館（亀さんクラブと合同）
徳島市大松町上野上9

練習日 毎週木曜日（19：30～22：00）

参加費 一人一回100円（月額500円）

□硬式テニス

練習場所 大神子テニスセンター

第3回練習日 10月31日（日）18：00～21：00

参加費 一人1,000円程度 ※毎月1回練習予定
※シューズ・ラケットはできれば持参してください。

●士会だよりー本部●

あっぱれ棟梁コンクール

建築大工技能者として高い技術を持ち、素晴らしい仕事をしつつ、後継者を育成されている「あっぱれ棟梁」を募集しています。切妻、寄棟、入母屋等さまざまな住宅の応募をお待ちしております。

・問い合わせ先

徳島県木造住宅推進協議会

徳島市万代町1丁目1 徳島県県土整備部住宅課内

TEL 088-621-2593

・提出期限 平成22年10月29日（金）

●士会だよりー女性部●

県外研修旅行（犬島アートツアー）のご案内

日程 平成22年10月30日（土）集合・出発7：00

集合場所 沖の洲マリナーターミナル

参加費 3000円程度 定員 27名

申込締切 10月15日（金）

※お申込・お問い合わせはアトリエ・クー杉本さんまで。

Fax 088-679-2837 携帯 090-4780-2800

E-mail coo@coo.vs3.jp

編集後記

◆今年のオペラは12月5日（日）。演目はヴェルディの「仮面舞踏会」。チケットはお早めに！（ノーリツ号）

◆カレー3姉妹。（源九郎&源十郎）

◆辛い！（ぺぺい）

◆亀が17匹になった!!（ひとはたうさぎ）

◆遅刻しました、すみません。がんばります（タケシ）

建築士会本部行事案内 平成22年

10月		11月	
1日	一日会（支部長・事務局長含む） （士会会議室）	1日	一日会 （士会会議室）
2日	建築学会・シンポジウム （県立21世紀館）	5日	中四国ブロック職員会議 （島根県）
3日	テニス（硬式） （大神子テニスセンター）	7日	ソフトボール大会 （吉野川G）
6日	技術講習会（木造軸組構造計算） （建設センター7F）	10日	建築相談 （士会会議室）
7日	事業研修委員会 （士会会議室）	12日	建築ときわ会総会 （美波町・一番館）
10日	一級・木造建築士試験 （徳島大学工学部）	17日	建築相談 （士会会議室）
13日	建築相談 （士会会議室）	19日	中四国ブロック会議 （岡山県）
14日	総務委員会 （ 〃 ）	21日	防災訓練 （福島小学校）
20日	建築相談 （ 〃 ）		
21～23日	53回士会全国大会 （佐賀県）		
23～24日	山と木と緑のフェア （藍場浜公園）		
26日	技術講習会（長期優良木造住宅） （建設センター7F）		
26日	委託事業検討委員会 （士会会議室）		
27日	地域貢献委員会 （ 〃 ）		
28日	財務委員会＋公益法人改革委員会 （ 〃 ）		
29日	ゴルフ大会 （阿南カントリークラブ）		